

日本男子代表が加茂市体操トレーニングセンターで強化合宿(9月8日~14日)

主な内容

- 慶祝 悠仁親王様御誕生 ②
- 体操日本男子代表が
体操トレーニングセンターで強化合宿... ③ ⑥
- 第21回越後加茂川夏祭り ⑧ ⑨
- 総体結果 ⑩
- グループ登場「新潟合気会加茂道場」..... ⑪
- 加茂の風土記 ⑫



祝 慶



謹んで皇孫親王殿下の御誕生を
お慶び申し上げます
悠仁親王様の健やかな御成長を
心からお祈り申し上げますとともに
皇室の弥栄を御祈念申し上げます

平成十八年九月六日

加 茂 市



体操男子日本代表チーム 体操トレーニングセンターで強化合宿



表敬訪問で花束を受ける塚原光男総監督と選手の皆さん

試技会で世界最高の技を披露

加茂体操クラブ出身の馬場亮輔選手も 日本代表選手として参加

体操男子ナショナルチームの強化合宿が加茂市体操トレーニングセンターで、九月八日から十四日までの一週間にわたって行われました。

この第二回男子北京強化合宿は、十月の世界選手権大会と十二月のアジア競技大会に向けて日本代表選手の強化を目的としています。東京以外では初めてという地方都市での強化合宿は、加茂市体操トレーニングセンターが二年後の北京五輪で使用される予定の最新器具を備えているということが主たる理由です。今回の合宿には、アテネ五輪・団体優勝メンバーの富田洋

之・水鳥寿思・塚原直也選手と加茂体操クラブ出身でアジア競技大会に出場する馬場亮輔選手ら十名の選手並びに男子強化本部長の具志堅幸司監督などスタッフ八名が参加しました。

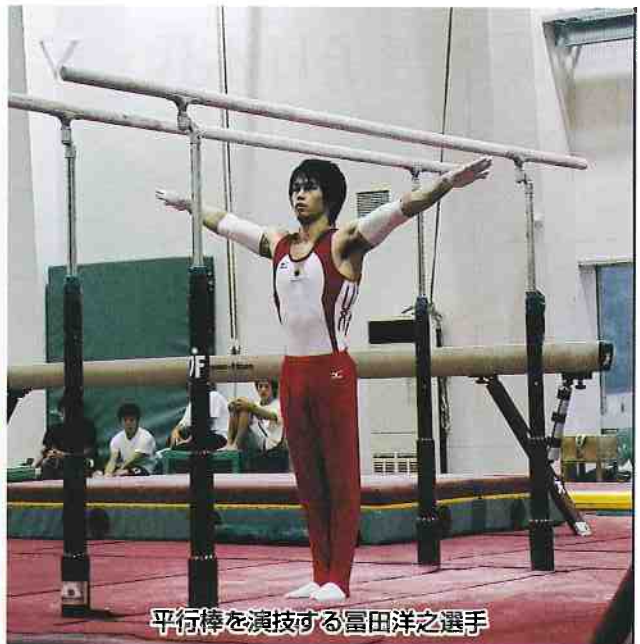
まず、八日には、塚原光男全日本チーム総監督も加わられた一



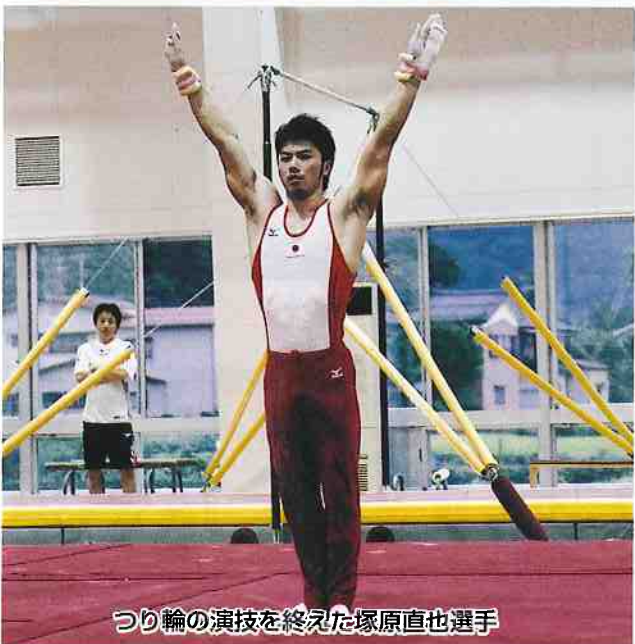
試技会后、あいさつする塚原総監督と選手たち



競技を説明する具志堅幸司監督



平行棒を演技する富田洋之選手



つり輪の演技を終えた塚原直也選手



あん馬を演技する馬場亮輔選手

行が、小池市長を表敬訪問しました。練習を前にした選手たちは、Tシャツやジャージという軽装でしたが、胸や背中には「JAPAN」「日本」の文字が輝いていました。

選手たちより一足先に体操トレーニンングセンターを視察した塚原総監督は「ジュニア選手育成には最高の施設」と高く評価し、「今回の合宿を意義あるものにして、世界選手権・アジア競技大会に備え、最終的には北京五輪での金メダルにつなげたい」と語りました。これに対し、小池市長は「健康に気をつけて加茂でがんばってください」と激励しました。

強化合宿中の十日には公開試技会が行われ、二百六十名にも及んだ観望希望の応募者から抽選で選ばれた三十名の市民の皆様が、加茂体操クラブの方々とともに観望しました。

出場種目を検討する監督・コーチ、そして試技会に駆けつけた塚原総監督の厳しい視線の中、世界トップクラ



競技を説明する立花泰則コーチ



観覧席の眼下で行われた「床」



加茂体操クラブの選手に感想は？



試技を始める日本代表チーム



全日本代表チームを激励する小池清彦市長

スの選手たちが、つり輪、平行棒、鉄棒、あん馬、跳馬、床の六種目で、見事な技を披露しました。「世界の技」を目の当たりにした観客からは、演技を終えて着地するたびに大きな歓声と拍手が起こり、日本代表の迫力を堪能しました。

ナショナルチームの皆さんには、加茂市における合宿の成果を大いに発揮され、今年の世界選手権、アジア競技大会はもちろん、二年後の北京五輪でも金メダルの活躍を祈念いたします。

また、北京オリンピックに向けて、男女の日本体操のトップクラスの方々が「加茂市体操トレーニングセンター」で、今後ふたたび合宿されることを心から期待し、全力を挙げて御支援申し上げたいと存じます。



九月八日に加茂市役所へ表敬訪問
されたときの写真です。

写真前列右から、関口栄一選手、塚
原直也選手、中瀬卓也選手、水鳥寿
思選手、富田洋之選手、森泉貴博
ヘッドコーチ、具志堅幸司監督（強
化本部長）、小池清彦市長、塚原光
男総監督、小林研也選手、馬場亮輔
選手、桑原俊選手、芳村裕生選手、
森越人選手

写真後列右から、小林総務課参事、
相田社会教育課参事、五十嵐商工観
光課長、中滝社会教育課長、横山正
明加茂体操クラブ総監督（新潟県体
操協会副理事長・県立三条高等学校
教諭）、関龍雄市議会議長、高嶋潔
新潟県体操協会会長、加藤裕之コー
チ、小林隆コーチ、立花泰則コー
チ、今井聖晃トレーナー、中島啓ト
レーナー、吉田淳二助役、齋藤保収
入役、井上信二教育長、捧総務課長

65歳以上の方々へ インフルエンザ予防接種(無料)実施

インフルエンザは流行する前に受けましょう!!

加茂市では三月末まで、六十歳以上の方々インフルエンザ予防接種を無料で行っています。

インフルエンザは例年一月中旬から三月上旬に流行します。

予防接種をご希望される方は、インフルエンザが流行する前に、かかりつけの指定医療機関などでよく相談して、予防接種をお受けください。

インフルエンザを受ける場合は、必ず予約してから受けましょう。

実施期間

三月三十一日まで

対象者

接種する当日、六十五歳以上となっている方

(六十歳以上で心臓やじん臓、呼吸器に特に重い病気のある方)

も対象となります。対象となるかどうかわからない場合は、かかりつけ医・健康課にお尋ねください)

料金 無料

(加茂市、田上町以外の指定医療機関で接種したときは、加茂市役所健康課で手続きをしていただく個人負担金をお返しします)

接種する当日に持っていくもの

◎保険証

◎予診票は指定医療機関に用意してあります。

問い合わせ

市役所健康課衛生係(電話五二〇〇八〇内線一六五)

高齢者のインフルエンザ予防接種を実施している指定医療機関

指定医療機関		電話番号	指定医療機関		電話番号	
加茂市	県立加茂病院 ※接種日が決まっていますので、病院へお尋ねください	52-0701	加茂市	二宮医院	52-1520	
	青柳医院	52-9511		にのみや内科クリニック	57-0770	
	いからし小児科アレルギークリニック	53-2250		服部クリニック	53-4680	
	うすき医院	52-1261		堀内医院	52-0953	
	大谷内科医院	52-0236		本間医院	52-8936	
	小柳医院	52-0330		皆川小児科医院	53-3530	
	監物小児科医院	52-0800		吉村医院	52-1037	
	小池医院	52-1038		吉田内科医院	57-7511	
	小池内科消化器科クリニック	53-3355		鷺塚医院	52-2054	
	小林医院	52-3042		わたなべ医院	53-3850	
	徳友医院	53-0167		田上町	須田医院	41-5025
	中村医院	52-0095			田上診療所	57-5015
	ながば医院	53-0751	田中医院		57-2024	
			星野内科医院	41-4141		

第21回越後加茂川夏祭り



大盆踊り

今年の越後加茂川夏祭りは、晴天に恵まれ、楽しい一日となりました。

初登場のユンボキャッチャーは、本物のショベルカーを操作してお菓子の入ったバケツを吊り上げるゲーム。子どもたちに大人気で、賞品のお菓子がなくなってもショベルカーを操作したいと順番待ちをする子どもの列が長く続いています。おなじみとなったウキウキ桃釣りも順番待ちする行列がつづき、釣り上げた瞬間にはまわりから拍手が沸き上がるにぎわいでした。ほかに、会場に展示された三台の人力車に試乗する人や、楽しいアトラクションなどでいっぱいでした。

夕日コンサートでは、地元新潟のアイドルユニット「Neggico」のステージでたくさんの方が集まりました。

会場内を練り歩く、「かつごう加茂川夏祭り」の御神輿には、県内から十団体以上の皆さんが参加し、「よさこいソー



大人気のユンボキャッチャー



ウキウキ桃釣り大会



大盆踊りの囃し方の皆さん



夜空を彩る大花火



会場を練り歩く御神輿



夕日コンサート「Negicco」



2km大ナイアガラ花火



市内保育園幼稚園児の力作灯ろう



よさこいソーラン競演

ラン競演・江戸みこし」には、地元団体の「あつてねえ」と新潟市から「響連」「凜舞」が加わり、力強く、華麗な踊りを披露しました。

暮れてからの大盆踊りには、十四団体と飛び入り参加の方々合わせて七百人以上の加茂松坂の輪ができました。花火の打ち上げにも、おおぜいの踊り手・観客でにぎわい、二キロメートルの大ナイアガラ・超大スターマイン・二尺玉五連発などの花火で「越後加茂川夏祭り」が締めくくられました。

この日は、約四万三千人の人出がありました。



S字コースにチャレンジ

自転車ラリー大会開催

八月五日、市役所周辺をコースにした自転車ラリー大会には小学四年生と保護者三十四名が参加して行われました。

この大会は、一般道での走行体験に遊びや競技の要素を加えた内容で、交通ルールとマナーを身に付けてもらうことを目的に、加茂警察署、加茂市交通安全母の会および加茂地区交通指導隊の協力で、夏の交通事故防止運動の一環として毎年開催されています。

コースでは、正しい自転車の乗り方などをチェックする安全走行の部と、文化会館前広場に設置したS字や8の字などで運転技術のチェックを行う技術走行の二部門で行われます。各チェックポイントで、自転車での道路や踏切の正しい横断方法などを指導しました。

終了後「ラリー大会認定証」が贈られ、加茂小学校の堀勝洋君と保坂菜里美さんが「ルールとマナーを守り、交通事故を起こさない遭わないように注意します」と交通安全を誓いました。

第49回総体結果



硬式テニス・シングルス

期日 九月十日

会場 庭球場(駒岡)

- 【Aクラス】▼男子①長谷川弘良(加茂ローン)②松岡芳夫(KIT)③袴田慎平(加茂高)③外山稔樹(加茂ローン)▼女子①中山佐和子(シテイサークル)②大桃さおり(加茂テニス)③川上瞳(加茂高)③村木由佳(同)

- 【Bクラス】▼女子①外山幸恵(加茂高)②内田あいみ(同)③船久保友梨(同)③永井麻理(同)
- 【Cクラス】▼男子①岡田劍悠(加茂高)②渡辺健太(同)③西巻勇太(同)③戸田益夫(フリー)▼女子①柳下愛(加茂高)②渡辺梢(同)③菅原ケイ子(勤少テニス)



ゲートボール

期日 九月十六日

会場 すばいく加茂

- 優勝 ひまわり
準優勝 喜寿会・和泉会



ソフトテニス

期日 九月十七日

会場 庭球場(駒岡)

- 【小学生女子の部】①前山知香・小池みゆき(加茂小)②佐藤明穂(下条小)・佐藤千秋(加茂小)③星野彩衣(石川小)・齋藤綾(下条小)③吉田亜貴穂(石川小)・金沢明美(下条小)

- 【中学生女子の部】①高橋佳澄・泉知佳(葵中)②乗原萌・近藤綾美(同)③権瓶望・樋口菜里(加茂中)③松下由佳・白井亜美(葵中)
- 【一般女子の部】①金田瞳・坂本貴和子(葵中)②志田稀耶(加茂中)・羽賀日和(葵中)③石塚京子・出口文美(協会)③坂爪愛・出口友絵(協会)

- 三位 天神林
敢闘賞 ゆきつばき



卓球

期日 九月十七日

会場 下条体育センター

- 【個人戦】▼中学生男子の部①石附天(葵中)②水野勇人(同)③青柳雄太(同)③保坂周斗(加茂中)▼



空手

期日 九月十七日

会場 勤労者体育センター

- ※選手の所属のうち、スポーツ少年団を「スポ少」で掲載しました。

- 【形】▼小学生無級者男女混合①山



- 川大智(スポ少)②弥久保竜治(同)③船久保遥(加茂小)▼小学生低学年男子①長谷川知輝(スポ少)②長谷川侑輝(同)③外石裕太郎(同)▼小学生低学年女子①堀美理(石川小)②長澤百佳(スポ少)③沖坂澤奈(同)▼小学生高学年男子①田村龍(スポ少)②本間大貴(加茂小)③広川拓臣(同)▼小学生高学年女子①西村明恵(スポ少)②山川真子(同)③五十嵐滯(同)▼中学生男子①江田諒太郎(加茂中)②笹川一磨(スポ少)③小柳禎介(葵中)▼中学生女子①西潟亜弓(七谷中)②小田彩(葵中)③高橋ちなみ(同)
- 【組手】▼小学生低学年男子①長谷川知輝②長谷川侑輝③堀内海真(加茂西小)③坂内拓海(石川小)▼小学生高学年男子①宮口翼(石川小)②高橋潤(下条小)③本間大貴③木下雄介(加茂小)▼小学生高学年女子①小田滯(石川小)②五十嵐滯③川又優(スポ少)③山川真子▼中学生男子①笹川一磨②下西佑治(スポ少)③関川貴大(葵中)③高橋佑哉(スポ少)▼中学生女子①西潟亜弓②高橋ちなみ③狩谷有紀(若宮中)③小田彩▼一般男子①斎藤真人(加茂空手道会)②船久保幸夫(同)③浦沢歩(同)③皆木司(同)

みんな仲間
グループ 登場

新潟合気会

加茂道場

私たち「新潟合気会加茂道場」は、発足して十五年目を迎えました。稽古（けいこ）は、毎週木曜日と第一・三土曜日に下条体育センター柔剣道場で行っています。

合気道は、なじみの薄い武道かと思われませんが、どんな武道なのか説明すると、「相手より有利な位置へ移動し、相手を制する」という武道です。攻撃される側が力の無い方でも、どのように対処すれば「相手を制し、自分を守るのか」不利な状況下で「どのように対処すれば自分を守るのか」という護身術の要素がある武道でもあります。

合気会加茂道場では、基本となる技を重点に置いた稽古をしており、攻防一体となる護身術にも使えることを目標とした稽古、有酸素運動にもなる受け身を健康法として、また稽古により自分自身の精神面を鍛える心の武術として、



武道を習っている会員がさまざま。な意識をもって活動しております。初めての方でも老若男女を問わず、どなたでもできますので、興味を持たれた方はぜひおいでください。

お問い合わせは、近藤（電話五三一二四三三）・清水（電話五三一二〇四三）まで。または、直接、稽古の会場へどうぞ。

加茂市史編さんの

委員紹介⑤

民俗部会



丸山久子さん
新潟県民俗学会員

加茂独自の伝統に裏打ちされた暮らしと食文化について、できるだけ多く掘り起こし記録したい。

民俗部会



長井久美子さん
新潟県民俗学会員

生活様式の変化により、加茂で暮らす人々の衣生活がどのように移り変わってきたかを記録したい。

文化財部会



川村知行さん
部会長・
上越教育大学教授

加茂は文化財の宝庫です。調査

も足かけ八年、新発見のたびに胸がときめき過ぎて、まとめるのがたいへん。うれしい悲鳴をあげています。

文化財部会



山崎完一さん
副会長・
（株）グリーンシグマ
常務取締役

文化財建造物の保存に関わって約四十年。その中身は随分と変わりました。伝統的な考えで建てられた歴史的建造物であっても、近世から近代への変容が重要な研究課題として浮かび上がり、私の若い頃には考えも及ばなかった世界が出現しました。

文化財部会



羽二生寛興さん
日本文理高等学校
校長

市内に伝わる仏像彫刻などを調査し、その当時の信仰の様子を探るとともに、文化財保護のお手伝いをしたい。

真夜中の村松藩主

八幡宮(長瀬神社)参詣

天保十五(一八四四)年七月四日の真夜中(午前一時過ぎ)、村松藩の九代藩主堀丹波守直央は、江戸から帰国の途中に八幡の八幡様(現在の長瀬神社)を参詣した。

村松の殿様が国元へ帰るルートは、江戸から三国街道を通り越後に入り、六日町から舟で信濃川を下って三条の船着場の上陸、三条で一泊して加茂から上条の御登り峠を越えて村松へ入る。都合八日間の道中が、この時代の通常のコースである。

今回は真夏の暑い盛りのためか、夕食後に三条を出立して、早朝に村松に着く夜の行程であった。真夏とはいえ、深夜に殿様の行列が険しい山道を越えたのには驚かされる。

三日の早朝、村松藩家臣吉田栄右衛門が上条村に到着。他の役人衆や村松領内の村々か

加茂の風土記

らも八幡様まで殿様の出迎えに集まる。七谷からは黒水の大庄屋山崎徳左衛門以下村々の肝煎・組頭など三十二人、村松地域の村からも二十八人。彼らは神官の小池大和正・小池撰津宅のほか小治兵衛、由蔵、儀郎左衛門の家々に陣取って殿様の到着を待った。

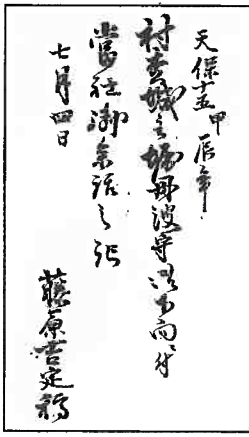
八幡宮では、藩役人の指示に従って準備を進めた。鳥居の両側に大きな高張提燈を取り付け、境内には明々と燈明を灯し、拜殿入口には日の丸印の提燈を揚げた。拜殿内は、上手に屏風を立て、毛せんを二枚重ねた上にさらに敷物を敷き、左の方に刀掛を置いて殿様の着座をしつらえた。

三条を午後九時前に出発した殿様は、途中上条村の弥蔵あたりで馬から駕籠に乗り換え、予定より半時余り遅れ夜八ツ時(午前一時ころ)にお宮に到着。一行が鳥居近くにさしかかると、太鼓が打ち鳴らされ、殿様は出迎えの者が見守る中、拜殿前で駕籠を降りた。

昇殿参拝を終え、着座した直央公が神主の小池大和正に対し氏名をお尋ねになったので、手札に書いて返答した。その後、拜殿の天井画を描いた絵師名や太鼓をいつ打つかなどの質問があり、絵は各方面から寄進されたので諸方の絵師により描かれ、太鼓は朝夕打ちますと答えた。

参詣を終えた殿様が拜殿を退出すると、太鼓が打ち鳴らされた。殿様は石原坂まで徒歩で、そこから先は馬に乗って真夜中に山道の御登り峠を越えて村松城下に向かった。藩主から金百疋を賜り、小池神主は一連の行事が無事終了したことに對し、御祈祷を行った。

以上が「村松城主堀丹波守御下向二付当社御参詣之訳」(小池清彦氏所蔵)が記すこの日の模様である。



村松藩主が八幡宮を参詣したこと
を記した文書

あじろ

社会福祉費寄付金

▼越峰扇祿さん(南魚沼市)から
十二万円

加茂市へ

▼東北電力株式会社(新潟県営
業所)から
街路灯二十三灯

人口のうごき

9月1日現在
世帯 10,008 (+7)
人口 32,161 (-26)
男 15,551 (-6)
女 16,610 (-20)
()内は前月比
(8月異動分)
出生 14 (男9女5)
死亡 29 (男11女18)
転出 46 転入 35